

# 注目の「子育てジョイカード」で活発な質疑

上越市が新年度の目玉事業としている子育てジョイカード、厚生常任委員会でも質疑が集中しました。

子育てジョイカード事業（142万円予算計上）は、18歳未満の子どもが3人以上いる家庭にたいしてカードを発行して、協賛企業から割引などのサービスを受けるといった仕組みになっています。子育て家庭の経済的な負担を少しでも減らすとともに、企業振興も図る。これまでの行政サイドからの子育て支援とは一味違った、行政と民間の協働による取り組みとなりますので、ぜひ成功させてもらいたいと思いますが、実施に向けた市の具体的な方針がよく見えません。

柳沢周治（市民ク・大潟区選出）、森田貞一（同・合併前上越市選出）両議員などから、「企業の善意に頼る事業と見てよいと思うが、市の考え、具体的な取り組み概要を示してほしい」「事業予算が出ているのに、まだ要綱（案）などが示されていないのはいかがなものか」などと質疑がありました。同事業については、質疑のなかで次のようなことが明らかになりました。

対象世帯は約3000世帯。  
4月から協賛企業をつくる。実施は夏ごろからの

予定。

業種は基本的にはすべての業種を考えている。

カード所持者にたいするサービスは、各企業が一定の割合で値引きする、ポイントカードのポイントを増やす、景品を出すことなどを想定している。

同事業の実施要綱は予算成立後に示されることですが、番外で質問に立った橋爪議員は、この事業を評価したうえで、いい取り組みにするためにも実施要綱（案）を議会に示して審議に付すべきたと強く主張しました。



橋爪議員の牛舎近くの山ではマンサクが咲き始めています

## 老朽化すすむ春日山荘 早期に建て替えを... 樋口議員が要求

春日保育園の改築が具体化しましたが、地元住民からは春日山荘の建て替えも忘れないでほしいとの声があがっています。

樋口議員は7日の厚生常任委員会で、こうした声を取りあげ、「老朽化のすすむ春日山荘をどうするか」と質問しました。これに対して、田村健康福祉部長、渡辺総合福祉センター長は、「社会福祉協議会と協議していきたい。もうしばらく、かわいがって使っていただきたい」と答えました。



身近なところに温浴施設があるといいですね。

年をとったらお風呂が一番です。風呂に入ると、ゆっくり休み、趣味の活動を楽しむ... こういったことが楽々できるようにしてほしいものです。春日山荘は昨年4月から今年1月末までだけでも3万9333人の方が利用しています。

## 特養ホームの入所待機者数は1037人

特別養護老人ホームに入りたくても入れないで待機している人が1月1日現在、1037人にのぼっていることが明らかになりました。

これは岩野虎治議員（政和ク・大島区選出）の質問に介護保険課が答えたもの。

内訳は、合併前の上越市で611人、13区で426人となっています。

## 日本共産党上越市議団ニュース

42 2006年3月19日

|      |      |          |          |
|------|------|----------|----------|
| 連絡先  | 杉本敏宏 | 524-3787 | (東本町5)   |
|      | 樋口良子 | 544-6802 | (中門前3)   |
|      | 橋爪法一 | 548-3628 | (吉川区代石)  |
| 事務局長 | 上野公悦 | 530-2203 | (頸城区中柳町) |

## 厚生常任委員会審議から